

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
102	工学院大学	プログラミング言語基礎論	位野木 万里 情報学部 教授	2	後期	水	14	11:05～12:50	工学院大学 八王子キャンパス	5

【到達目標】

プログラムを構築する際に必要となるフローチャートやコードの作法、開発方式やソフトウェア・システムの評価指標も含め、プログラミング言語に関する体系的知識を理解し、説明できる。また、学習しているC言語と他言語との差異を理解し、その違いを説明できる。

【授業の概要】

プログラムの動作原理から、様々なプログラム言語、コーディングのテクニックに至るまで幅広く学習し、今後、プログラミング言語を学ぶ上で必要になる基礎的な知識を理解する。

【授業内容】

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. ガイダンス・ハードウェアの基礎 | 8. オブジェクト指向言語 |
| 2. プログラムの基礎 | 9. スクリプト言語 |
| 3. アルゴリズムの設計 ～フローチャート～ | 10. インタプリタとコンパイラ |
| 4. コーディングの作法とプログラムの構造 | 11. ソフトウェアの開発モデル |
| 5. プログラミング言語の種類と特徴 | 12. システムの評価・ソフトウェアの評価 |
| 6. 機械語・アセンブリ言語 | 13. プログラム・ソフトウェア開発技術の動向 |
| 7. 手続き型言語 | 14. 学期末筆記試験 |

【成績評価方法】

各回にて実施する課題を提出すること。学期末筆記試験を実施する。学期末筆記試験(50%)および提出課題(50%)によって到達目標に照らして、6段階のGrade(A+,A,B,C,D,F)で評価し、D以上の者に単位を認める。

【教科書】

指定教科書なし。資料を配布する。

【参考書、教材等】

指定参考書なし

プログラミング言語、ソフトウェア開発方法論の文献を幅広く参照する予定。その中で、基本情報処理技術者試験関連の過去問を例題としてとりあげることがある。

※ この授業は、9/23(水)が初回です。